

様式第2号（第5条関係）

平成27年8月20日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 大西勝博



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成27年7月25日～平成27年7月26日まで
- 2 旅行先 東京都
- 3 目的 市民と議員の条例づくり交歓会議2015参加
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成 27 年 7 月 25 日 13:30 ~ 17:45 7 26 10:00 18:00
視 察 先	東京都 法政大学市谷キャンパス(富士見坂校舎)
調査事項	市民と議員の事例づくり交流会議 2015 参加
対 応 者	廣瀬克哉氏、馬渡剛氏、(1日目) (2日目) 長野基氏、廣瀬克哉氏、青山彰ス氏、中尾修氏、寺島歩氏、鈴木郁夫氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	地方創生 と 議会議員としての関わり 及び 議会改革の検証 を全国各地の市議、町議、一般市民、市民とワークショップを通じて 意見交換を行うと共に、各講師による講演と実践報告 第1日目「地方創生は地方議員の力量にかかっている」と題し、馬渡剛氏(法政大学文学部社会科学科准教授)の講演 ※地域におけるより近い存在の地方議員の役割は、地域全体の状況は捉え議員相互の共通認識が必要と感じる 講演の後、各分科に分かれて、4~5名程度の人員でワークショップに参加する。 テーマは「議員って何だ!!」に参加。 議員としての思いの違、一般の方との認識のずれを感じると共に、市民の方と一番近い地方議員であることが大切であると考えられていると発言し、それぞれの議会に於ける現状の差を改めて考えさせられた。 第2日目 長野基氏(首都大学)より調査報告として「全国議会調査 2015. 14. 15. に見えたこと」の発表があり、前日での各分科したワークショップの報告と問題提起がなされ、基調提起として「議会改革の10年」をめぐってこれから、を廣瀬克哉氏(法政大学)より受け、「地方創生と地方議会の役割、議員に求められていること」と題し、青山

彰ス氏(読売新聞 東京本社編集委員)より講演の後、中尾修
氏(東京国研研究員)よりコメントをいただく。

午後より、実践報告として、新島 渉氏(飯綱町議会議長)、
鈴木太郎(横浜市会議員)、西沢一郎(所沢市議会議員)より
実践報告を受ける。

※ 議会基本条例制定より10年が経過した今、議会改革
の一端であり全国の地方議会の39%が制定されている現在
今一度再検証し、議のための改革の力を議員間で部会、
来年度の為に有効に活用するこを認識すると共に、今年度本町
議会に於ける、議会改革推進会議に反映したい。